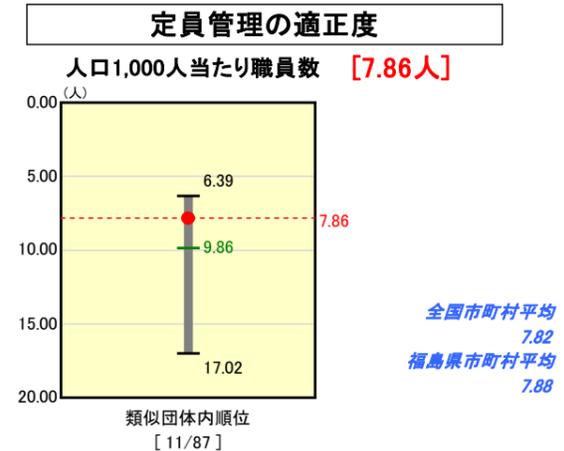
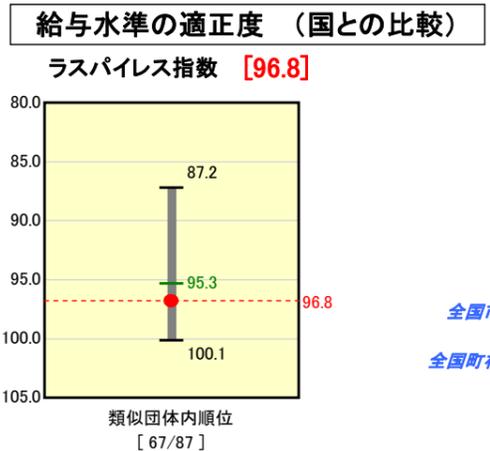
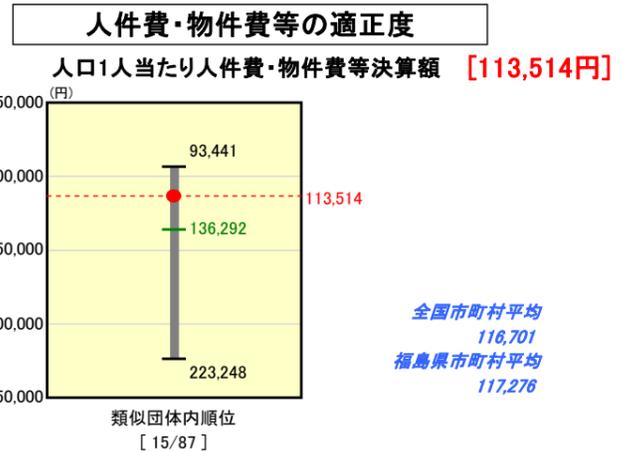
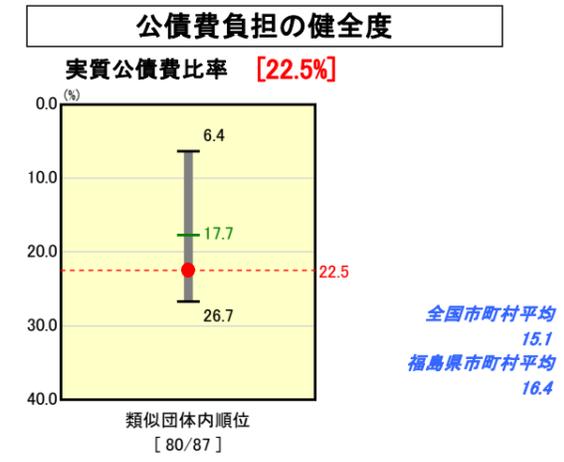
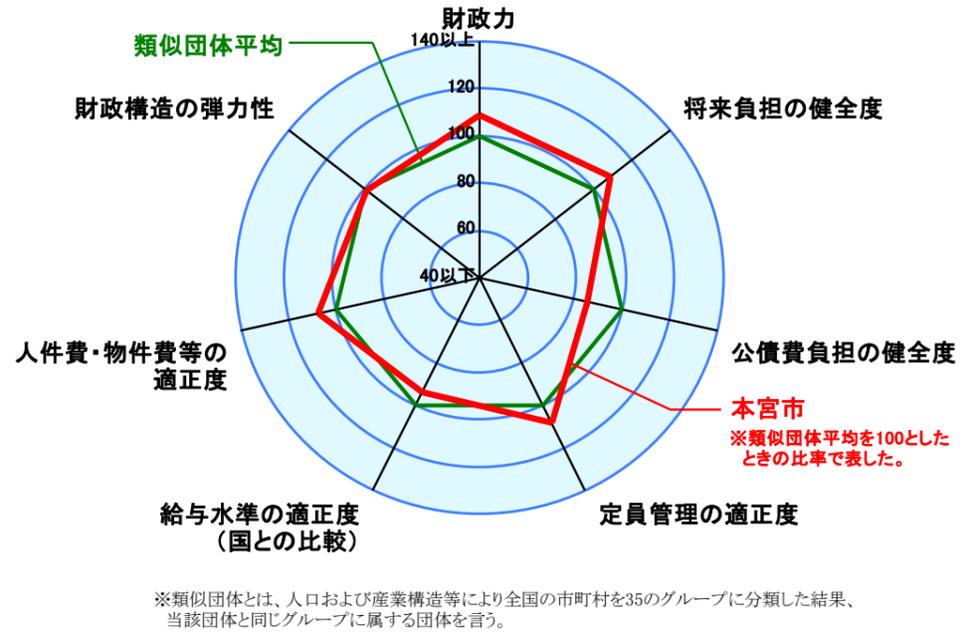
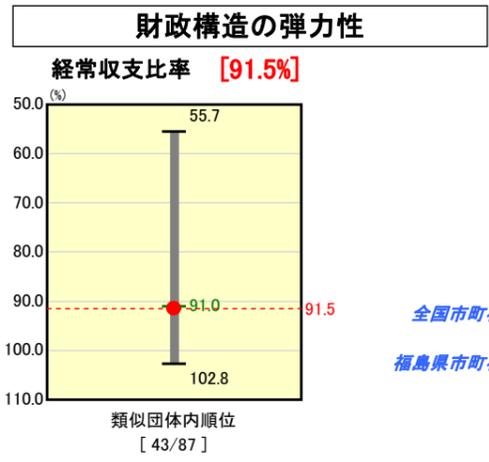
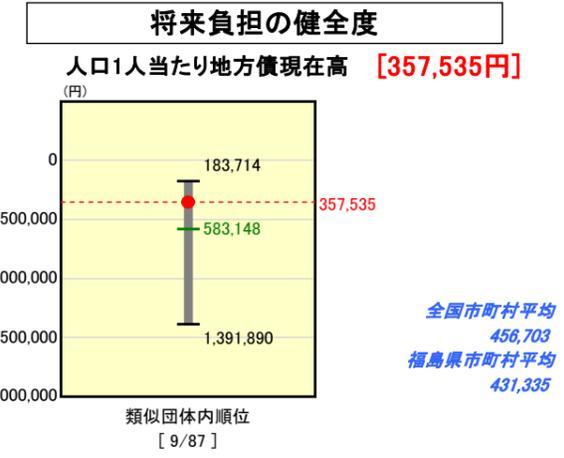
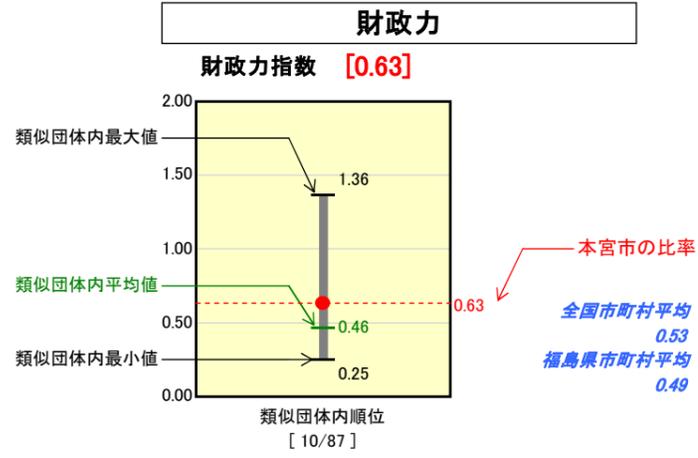


# 市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

## 福島県 本宮市

人口	31,800 人(H19.3.31現在)
面積	87.94 km <sup>2</sup>
歳入総額	11,121,196 千円
歳出総額	10,798,547 千円
実質収支	265,007 千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

**財政力指数** : 大型事業所の税収があるため、財政力指数は0.63となっており、類似団体平均を上回っている。今後も市税の収率向上、遊休財産の売却等を推進し、歳入の確保に努めながら、歳出の削減に努める。

**経常収支比率** : 平成18年度は91.5%と前年度より2ポイント上昇した。今後は、経常経費の削減に努め、当該比率減少を図る。

**実質公債費比率** : 過去に発行した債務負担行為による支出が多いなどの理由から、実質公債費比率は類似団体平均を上回っている。今後は、新規の起債事業については後年度財政負担を十分考慮し事業費の見直し、実施の有無を判断し、起債発行を抑える。また、債務負担行為については、普通建設事業費に係る新規設定はしない方針で進め、当該比率の減少に努める。

**人口1人当たり地方債現在高** : 平成19年度以降、教育施設の改修・道路改良事業の実施に伴い、新規の地方債を発行することとなるが、財政計画に基づく発行を行い、当該現在高の水準を維持する。

**ラスパイレス指数** : 全国市平均よりも下回っているが、引き続き給与の適正化に努める。

**人口1,000人当たり職員数** : 類似団体平均を下回っているが、平成20年度においては、定員適正化計画を定めて事務・事業の整理、簡素で合理的な組織と職員の適正配置を進め、また、市民及び各種団体との連携、協働の取り組みを図りさらなる職員数の抑制に努める。

**人口1人当たり人件費・物件費等決算額** : 類似団体平均値を下回っている。今後も施設の維持管理に伴う諸経費や、消耗品費、委託料、備品購入費といった経常的な物件費については、行政サービス水準を維持しながらも、さらなる効率化を図るとともに、事務の進め方についても職員一人ひとりがコスト意識を持ち、経費縮減に努める。